



春や秋などに神社の祭礼で神様に捧げるための舞を神楽といい、古くは神座に神を迎え行う鎮魂の神事を、のちに芸能化し神楽と呼ぶようになりました。

宮廷の御神楽に対し、地方のものを里神楽といい、巫女神楽、出雲流神楽、伊勢流神楽（湯立て神楽）、獅子神楽に大きく分けられ、市内に伝承されている太々神楽は出雲流神楽にあたります。

出雲流神楽は、柵や幣束などを持って場を清めるために素面で舞う採物舞と、古事記や日本書紀に伝わる神話を面をつけて舞踊劇風に舞う神能とがあります。

福島県指定重要無形民俗文化財の船引町大倉「大倉の太々神楽」は、江戸時代後期に神楽の師匠として活躍した國分大隅が、大倉神社の神職に就いたことが縁で、村人た

ちに神楽を教えたことに由来します。今に伝える演目は小神楽といわれる採物舞と大神楽といわれる神能のあわせて36座あり、県内でもこれほどの演目数を伝えるところはそうはありません。

田村市指定無形民俗文化財の常葉町山根「山根の太々神楽」は、詳しい由来については不明で、江戸時代から行われていたものは廃絶してしまい、1882（明治15）年に御神楽会を結成し、近郷より習い受けたものが今に伝わります。演目は小神楽8座と大神楽13座とがあり、このうち3〜5座を選んで山根日鷲神社の祭礼で舞を奉納します。

ほかにも未指定ではありませんが、船引町船引「板橋の太々神楽」、同町門鹿「門鹿の太々神楽」、同町新館「新館の太々神楽」などがあります。このうち「新館の太々神楽」は祭

礼のたびに新館神社境内に舞台を組み上げるといふ古い風習を残しています。

前回紹介した獅子舞同様に太々神楽もそれぞれ保存会により継承が行われています。しかし、どの保存会も会員の確保に頭を悩ませています。そんな中、大倉や山根の保存会では小・中学生にすそ野を広げ、若いうちから神楽に親しむ機会を設け継承に取り組



んでいます。時代の変遷とともに廃絶してしまった民俗芸能はこれまでも数多くありました。一度でも継承が途絶えてしまうと、復活させるのは困難です。現在継承されている民俗芸能も今後の状況次第では廃絶する可能性があります。東日本大震災や新型コロナウイルス感染症は継承活動に大きな影響を与えています。地域の宝である民俗芸能がそれらを乗り越え、地域の絆で末永く継承されることを望みます。

今回は「田村市指定有形文化財の建物4棟」を紹介する予定です。田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶

- 1 大倉の太々神楽
- 2 山根の太々神楽

地域おこし協力隊奮闘記

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の佐久間朱妙です。2022年もあつという間に10月を迎えました。いかがお過ごしでしょうか。7月23日、東京国際フォーラムで「新・農業人フェア」が開催されました。私は、たむら就農移住相談室の相談員として、田村市の土地や生活、農業や移住に関する制度などを案内しました。当日の来場者数は1113人で、私たちのブースにもたくさんの方がお越しくださいました。すでに農業をされている方やこれから農業をはじめたい方、年齢も幅広くいろいろな方とお話できてとても楽しかったです。お話の中で「住まい探しのサポートはありますか？」と質問さ



【プロフィール】  
佐久間 朱妙（さくま あけみ）  
田村市船引町出身。田村市地域おこし協力隊2年目。「田村空き家の窓口」で相談業務を担当。

活動報告  
「出展で学んだこと」

田村市は2011年の東日本大震災の影響もあり、水回りの故障や老朽化で修繕が必要な空き家がたくさんあります。7年前の調査では、田村市の空き家は約700件でした。少子高齢化や若年者の転出などに伴い、空き家は増え続けています。最近では、修繕が必要ない空き家の登録も少しずつ増えてきたこともあり、移住を検討している方に活用してもらいやすくなりました。これもひとえに、住民の皆さんや各関係機関のご協力のおかげと感じています。

移住検討者への住まいのサポートの重要性など、今回学んだことを忘れずに、引き続き空き家事業に励んでいきます。あわせて、ま



▲「新・農業人フェア」たむら就農移住相談室のブースにて

れることが多く、移住を考える方にとって住居とそのサポートが重要だと改めて感じました。

た出展に携わる機会があれば、たくさんの方々に田村市の魅力をお伝えしていきたいと思えます。

2022年も残り3カ月となりました。皆さんの生活が、健康で充実したものになることを祈っています。



- 田村空き家の窓口  
☎61-7579 ホームページ▶▶
- 『たむらで暮らす人々』にインタビュー記事掲載中  
たむら暮らし WEB サイト▶▶
- 『チャレンジする人』にインタビュー記事掲載中  
ふくしま12市町村移住ポータルサイト #未来ワークふくしま▶▶

広告欄 Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課（☎0247-81-2117）へ